

校報



水 緒

「知徳の方向 あやまらず 進め」

第 1346号
(令和2年度 第29号)
洋野町立種市小学校
令和2年11月13日
児童数 228名

前回の校報で、創立記念日の記事に誤字脱字がありました。お伝えしたかったことは、11月16日が創立記念日であること、今度143周年を迎え144年目に入ることでした。お詫びして訂正させていただきます。

1年生の発表で始まる学習発表会 6年生のみなさんが 締めくくいなさい！ 5年生は代表して それを見届けるのです！

その場には、いないけれど、「〇年生もがんばっているだろうな」、「予行練習で見たあの部分はうまくいったかな。」などと、他の学年にも思いを馳せてほしいと思っています。見ていないけれど、1年生の「はじめのことば」から始まるそれぞれの発表・表現が、最後までつながっているような気持ちで最後を迎えたいと思うのです。自分達の発表が終わって次の学年に入れ替わるとき、「自分達はがんばったよ。みなさんもがんばって。」そんな気持ちでつなぐことができればいいなあとと思っています。

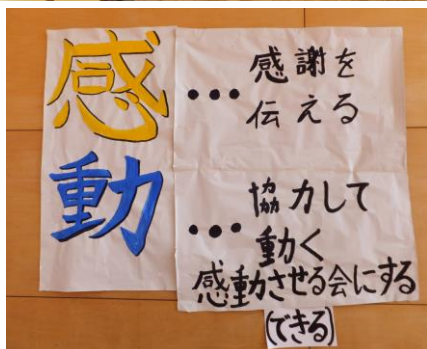
最後は、6年生が締めくくります。6年生はどんな思いで締めくくるのか、締めくくりに立った舞台上でどんなことを思うのか。6年生の「終わりのことば」でそれぞれの発表がつながって大きな大きな「学習発表会」という**“1つの発表”**ができあがります。それを、是非、子ども達に立ち会わせたいと考えました。コロナで制約があるなか、おうちの方にも人数の制限をしているなかですが、5年生だけにでも代表として締めくくりを見届けさせたいと考えました。それが、とても大切な教育の場面であると考えました。何とぞ、ご理解をお願いいたします。

締めくくる6年生を見て5年生は、自分達の発表が成功したという達成感に加え、きっとこれまでにないものを感じてくれると期待します。



毎回お辞儀をしながらプログラムをめぐっています。なにとぞ、お見逃しなく。

「出番だ！」と道具係が出動します。



演技だけではありません。6年生は係活動も行っています。また、予行練習が終わったあとは、「**まだできることはないか**」とそれぞれの学年で反省の話し合いが行われてきました。みんなで、学習発表会を創り上げます。

こうしてお伝えするたびに、他の学年も見ていただきたいのですが、今回は、**ご自分の子の学年のみ**ということで、よろしく願いいたします。

劇をするときなどは、

念のため、**マウスシールド**をつけることにしました

学習発表会の実施が心配されるなかでの安全対策として、子ども同士が近づく劇などは、マスクをつける代わりにマウスシールドをつけます。マスクでは表情が見えませんが、長い時間はずしてしまっても心配ということで、念のためつけることにしました。マスクよりはよいと思うのですが、それでも、見えにくいところや聞こえにくいところがあると思います。なにとぞ、ご理解ください。

なお、合奏のときや子どもの距離をとれるとき、また、短い時間では、飛沫の心配が低いということからつけていない発表もありますのでご承知おきください。

来週から「**小中連携家庭学習週間**」

取り組みの最後にテストをすることにします。でも、

「もし、その問題が

前もってわかっていたら？」

1月18日（水）から1週間、中学校の定期テストに向けてのテスト週間に合わせて、小学校でも「家庭学習週間」を行います。今回は新しいやり方を2つ加えます。

<1つ目>

家庭学習週間が終わったらテストを行います。さらに、**そのテスト問題をあらかじめ教えます**。ですから、家庭学習週間で計画的に勉強すればよいのです。出る問題がわかっているのですから、どの人も勉強（努力）さえすればいつもよりもよい点数が採れそうです。

<2つ目>

毎日やった**家庭学習の時間**を記録します。自分の努力のあとが見えるようにするためです。

どこまで練習しようか自分で計画を立てて、勉強します。少しでもよい人は練習のあとに読書をしてよいでしょう。がんばったあとが見えることで励みにもなることでしょう。

実は**4年1組の実践**を参考にしました

1学期の終わりごろでした。4年1組では漢字テストが行われました。1回目は予告なしのお試し。そして、「**1週間後に同じ問題だったら今度はどれだけできるだろうか!**」と先生が話されたそうです。「**次こそはもっとよい点数をとるぞ!**」と勉強した子ども達が、やはり、どの子も点数を伸ばしました。勉強も、「**やった分だけ伸びる**」ものです。陸上も縄跳びもマラソンもそうでした。努力した分だけで伸びるのです。勉強もそうです。4年1組の子達のがんばりを紹介します。

伸びた点数	88点	76点	48点	46点	40点	28点	12点	0点
人数	1人	1人	2人	1人	2人	3人	2人	1人

例えば「なんと“88点”も伸ばして96点を採った」子がいます。ということは1回目は8点だったことになりませんが、恥ずかしいことではないです。練習していませんから思い出せないのも仕方ありません。注目したいのはその子が勉強して力を伸ばしたことです。このようにどの子も力を伸ばしました。“伸び0点”の子が1人いるのは、1回目も2日目も100点の子です。2回目の100点満点はこの子を含めて8人にも増えたのでした。

似たような取り組みがこれまでも行われてきたかもしれませんが、今度は全校みんなでやってみようということになったのでした。実はこれは、先生方の1学期の反省の職員会議で話し合われたことで、これまで機会を狙っていたものでした。先生方も、「**まだよくなることはないか**」と“よりよく”をめざして工夫・改善を進めています。

「勉強も、やった分だけ伸びる」

みんなでそれを証明してみせようではありませんか!